



授業改善

深い学び・対話的な学び・主体的な学びの 過程の実現に向けて

各校種、教科で授業改善が進められる中、教育課程企画特別部会「論点整理」(平成27年8月26日)において、主体的・協働的な学びの指導方法の改善の視点として、以下の3点が述べられています。

- 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた **深い学びの過程** が実現できているかどうか。
- 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、**対話的な学びの過程** が実現できているかどうか。
- 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、**主体的な学びの過程** が実現できているかどうか。

(「論点整理」より)

今回は、この3点を踏まえた指導方法の改善について小学校国語科第5学年及び第6学年の授業「読むこと」を例に紹介します。



深い学びの過程

◎本単元で「育成したい能力」を明確にしましょう。

例 優れた叙述について、自分の考えをまとめる能力を育成しよう!

◎言語活動を通して指導事項を指導しましょう。

例 本を読んでその本を推薦する文章を書くという言語活動を通して指導しよう!

●●●ここがポイント!●●●

実生活で生きて働く能力を育成するためには、指導事項を踏まえて「育成したい能力」を明確にすること、そして、その能力をどんな言語活動を通して指導するかを単元構想で明らかにすることが重要です。そのことにより、習得・活用・探究という学習過程を構築することができ、**深い学びの過程**の実現につながります。



対話的な学びの過程

◎個々の考えを広げたり、深めたりすることのできる学習活動の場を設定しましょう。

例 それぞれの考えを交流することで、想像したことを広げよう!

例 同じ作者の作品を比べて読むことを通して、優れた叙述に気付かせよう!

●●●ここがポイント!●●●

同じ文章を読んでも、児童の心に響く言葉や文は様々です。また、同じ言葉や文に着目してもそこから想像することは多岐にわたります。それぞれの考えを交流し、自分にはなかった考えに気付くことで個々の考えは広がります。また、一冊の本や一編の文章を読むだけでは気付かないことがあります。他者との交流や様々な文章を読むという外界との相互作用を通じて、**対話的な学びの過程**を実現していきましょう。



主体的な学びの過程

◎相手や目的などを明らかにし、児童生徒が目的意識や必要性を感じて学習に臨めるようにしましょう。

例 推薦する相手に応じて推薦の仕方を考えよう!

例 推薦の文章を書くために、自分の考えをしっかりとまとめているよう!

●●●ここがポイント!●●●

推薦するためには、誰に推薦するのかという相手によって、何を取り上げ、どのように推薦するのが変わってきます。目的や相手を明確にすることで一つ一つの学習活動に目的性や必然性をもたせること、また、そういったプロセスを児童自身が見通せているかによって、学習に臨む姿勢は変わります。児童一人一人が課題解決に向けた見通しをもち、目的性や必然性を意識して課題を解決していくような**主体的な学びの過程**を実現していきましょう。

教職経験9年目等のみなさん、来年度共に学びましょう!



研修概要

10年経験者研修講座

京都府教育振興プランに基づいた教育を推進するとともに、新たな課題や時代の変化に速やかに対応できる力の育成を目指して10年経験者研修を実施しています。

Q：今年度の10年経験者研修対象の人数は？

A：今年度は274名です。昨年度は261名で今後も増えていく予定です。

Q：今年度、主にどのような研修内容でしたか？

A：勤務校(園)研修とセンター等研修で構成され、センター等研修は次の内容です。



1年間の研修で学んだことを交流し、お互いの成長を確認しました。

■共通講座Ⅰ～Ⅴ

- 人権教育
- 学力向上
- 学校組織マネジメント
- 児童生徒理解 (不登校、いじめ、児童虐待等)
- 学校における危機管理
- 特別支援教育 など

具体的な内容は、「ITEC>研修講座>実施した講座の様子」で確認できます。

■他校種体験研修講座

他校種の幼児や児童生徒とかわり、教育活動の体験を通して実践的指導力を養います。

■選択講座

個々の適性や関心に応じて、教科・領域等の実践的指導力を養います。

今後も、中核教員として更なる実践に向けて、センター研修講座を活用してください。

センター研修講座を計画中です!!

平成28年度センター研修講座では、以下のような教育課題等に関する講座を実施します。

次年度の研修講座については「研修講座の概要」(冊子)を各学校に送付するとともに、「平成28年度研修講座一覧」(リーフレット)を全教職員にも配付します。

「やってみたい」から「できる」へ

● 道徳の教科化

● 組織的な校内体制での教育相談

● キャリア教育

● 小学校外国語活動

● 合理的配慮

● ICT活用

● 政治的教養を育む教育

● アクティブ・ラーニング

● 幼稚園を含めた校種間連携

等